

日本産科婦人科学会 周産期登録事業への参加について

当院は、日本産科婦人科学会周産期登録事業に参加しています。

1. 登録事業への参加の目的

日本産科婦人科学会周産期登録データベースは、会員所属施設で本事業の趣旨に賛同し登録加盟した施設の全分娩に関する母体、胎児、新生児情報および分娩周辺の関連医学情報を蓄積している我が国の唯一最大のデータベースです。本データベースを用いて学会あるいは研究者が様々な疾患、合併症あるいは分娩事業に対する学術調査・研究を行うことにより新たな知見が得られ、我が国の周産期領域の医療の向上に寄与することを目的としています。当院はそのような趣旨に賛同し、本登録事業に参加しています。

2. 登録の内容および匿名化处理について

当院で分娩されるすべての患者さんを対象としており、それぞれの患者さんについて、患者さんの週数、出生体重、出生時の状況、治療経過、お母様の妊娠・分娩の状況などについて、要約したデータベースを作成します。

最終的な報告は、日本産科婦人科学会誌に毎年掲載されますので、どなたでもご覧になれます。

データ収集・集計にあたっては、当院からのデータ送付時に母体氏名、ID番号などの個人情報情報を削除し、匿名化处理を行います。また、収集された施設毎のデータを日本産科婦人科学会が再度匿名化处理後に保存蓄積しデータベース化しています。

したがって、個々のデータから施設名や個人が特定されることはありません。

日本産科婦人科学会 婦人科悪性腫瘍登録事業への参加について

当院産婦人科は、日本産科婦人科学会婦人科悪性腫瘍登録事業に参加しております。

婦人科悪性腫瘍登録事業の目的は、登録加盟施設より収集された、わが国における婦人科癌（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍）の進行期・病理学的分類、診断・治療の実態、治療成績（5年生存率）、登録罹患数や治療指標などの年次推移、これらの研究成果を患者や社会が利用しやすい情報として提供する方法等について解析・公表し、婦人科癌患者の医療・福祉に貢献することにあります。

当院産婦人科では、このような趣旨に賛同し、当院で治療を受けられ、臨床診断、または切除標本や生検により病理診断された子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍の患者さんの状態を要約しデータベースを作成します。

データ収集・集計にあたっては、当院からのデータ送付時に、氏名・ID番号などの個人情報情報を削除し、匿名化处理を行います。

したがって、個々のデータから施設名や個人が特定されることはありません。

*上記登録事業参加医療機関は、日本産科婦人科学会ホームページに概要を掲載しています。なお、研究への参加を希望されない場合は、お手数ですが主治医にお伝え願います。